



伸びやかに しなやかに

校長 関根 祐一

桜も早かったですが、早々に夏日の声を聞いた4月でした。気付けば、木々の若葉が瑞々しく輝き、燕のさえずりに初夏を感じるようになっていきます。そうした中、子供たちは、新しい友達・先生との出会いや、新しい学習との出会いを前向きな力に変えて、生き生きと活動に取り組んでいます。

本日（5月1日）まで行ってまいりました年度当初の授業参観・保護者会では、大変多くのご家庭にご出席いただき、誠にありがとうございました。12日（火）からは、個人面談を実施させていただきます。保護者会の折にもお話しさせていただきますが、子供たちのよりよい育ちを支えていくには、ご家庭と学校でお子さんの様子や先に向けた支援の方向を共通理解していくことが不可欠です。担任からは学校での様子をお伝えしますので、是非ご家庭での様子などをお話してください。ご多用の折とは存じますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



4月15日

3日後: 4月18日

2週間後: 4月28日

竹がもつ、勢いよく真っ直ぐに伸びる爽やかさや、強い風にも負けないしなやかさ・強さには、“節”が大きな役割を果たしています。

節が育ち筍から若竹へと潔く伸びる様子を、春のこの時期に見ることができるところから、私は、5月の朝会で、竹の節(目)を1年の学校生活の月の節目、そして学期毎の大きな節目に重ねて話をするがあります。節目を意識して目標を決め、目標の達成に向けて、できたことを貯めていけると、心と体の大きな成長に繋げることができるという思いを伝えます。また、「いつまでに、〇〇を頑張ってみよう。」「これのできたから、次は□□をやってみよう。」自分で自分の節を創っていくこともとても大事だと思っています。

竹の植え込みには、昭和51年度卒業記念の碑があります。学校の沿革を紐解いてみると、昭和52年3月（51年度末）に孟宗竹を記念植樹した記録がありました。伸びやかに、しなやかに、力強く成長した喜びと感謝、そして、これからの所小っ子たちにも、そう在り続けてほしいという願いが伝わってくるようです。



ご存知の通り、本校の体育館の玄関先には、大きな竹の植え込みがあります。学校の植え込みとしては、比較的珍しいものと思います。今年も、いくつもの筍が顔を出し、ぐんぐんと背を伸ばして、あっという間に立派な若竹に生長しました。

所沢市では、通年で業務内容や気候状況等に応じた軽装勤務とさせていただいております。本校でもノーネクタイ等の軽装勤務を取り入れておりますので、ご了承ください。